要求通リ会社ハ此際徹底的ニ労働者ノ切崩シヲ策シ来リ分子四十四日ノ
切崩策ノ無実ニ帰シ一般寮業態ニ於テ返シ尚近ノ形勢説明ヲ
継続説明ナルニ至ニ対シ争議ノ位置ニ其ガ切崩ノ方法ヲ講セントスル模様
ナリ

二、争議団側ノ動静

イ、争議団幹事会ノ開催

争議団側ニ於テハ此ノ会社側ノ威圧的ナル積極的行動ニ対シ過レテ之ニ
対抗スルハ反テ争議ノ深刻化セシメテ不利益ナリト謂フベキナリトナシ絶エ
冷静ニ戒メテアリシガ去ル十日ヲ以テ臨時幹事会ヲ開キ其ノ後ノ争議対策ノ
幹事会ヲ開キ「罷業同盟」ヲ来援中ナル土井某作ニ相談協議シ
会社側ノ最後通牒ニ於ケル回答ヲ図リ積極的態度ヲ執リ其ノ態勢ヲ保
チ一層積極運動ヲ開始スベシト決ム結束ノ固キ事ヲ近ク一層模範的
会ヲ催シ併セテ大演説会又ハ各種委員会ノ能見モ催スコトニ決

宣伝模様ナリ

ロ、会社側ノ切崩対策

豫テ会社側ノ切崩運動猛烈ナリトテ之ニ依リ争議ノ動揺ニ依ルモノニ対シテハ
委員会ヲ作成シ部隊ヲ以テ一致シテ争議者部隊ヲ配置セシメ可成各
方人手ニ配置セシメ其ノ方法ヲ講シ又戸別訪問ニ依リ切崩ニ対シテハ
各所ニ見張ヲ出シテ之ガ防止ニ努メツツアリ。

ハ、演説会ノ開催

争議団ハ真相発表演説会ヲ六日夜梅北村山崎ノ八二番地ニ於テ開催シ
労働者ノ開催趣意ヲ述ベタル後七時頃ヨリ弁士ノ一般会員
ヲ続々ト行ハレ聴衆ハ約五百名ノ演説ヲ以テ十時無事散会セシガ尚
引続キ村内ニ於テ演説会ヲ開催ノ見込。